



ALFONS

MUCHA

アルフォンス
ミュシャ展

アール・ヌーヴォーの美しきミューズ

[開館時間] 10:00-17:00 (入館は16:30まで) [休館日] 月曜日(7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)、8月13日(火) [観覧料] 一般1,200(1,100)円/大学生1,000(900)円/市内在住65歳以上600(500)円/高校生以下、障がい者およびその介護者は無料 ※()内は20名以上の団体料金/団体でご来館の際は事前にご連絡ください

[主催] 公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 [展示協力] OZAWA コレクション、OGATA コレクション [企画] 株式会社文化企画 《夢想 シャンプリア》(部分) 1897年 OGATAコレクション

2024.6.18 tue ~ 8.25 sun 茅ヶ崎市美術館



ALFONS MUCHA

MUSE IN ART NOUVEAU
2024.6.18-8.25 CHIGASAKI CITY MUSEUM OF ART

アルフォンス・ミュシャ(1860-1939)は、19世紀末から20世紀初頭、ヨーロッパで花開いた芸術様式「アール・ヌーヴォー」を代表する画家です。

ミュシャが描いた植物文様で彩られた優雅な女性像は今日まで多くの人を魅了しています。チェコ出身のミュシャが時代の寵児となったのは19世紀末のパリでした。彼が描いた舞台女優サラ・ベルナルの演劇「ジスモンダ」の宣伝ポスターが大評判となり、画家のみならず、デザイナーとしても輝かしい足跡を残したのです。しかし、祖国チェコ、スラヴ民族への愛は変わることはなく、50歳でチェコに帰国したのちは祖国の平和を願いスラヴ民族の誇りを作品に表しました。

本展ではポスター、装飾パネルをはじめ、デザイン集、ポストカード、切手、紙幣、商品パッケージなど多様な作品を展示することで、ミュシャの生涯に迫ります。



1. 《標幟》1896年
 2. 《ジスモンダ》1895年
 3. 《スラヴ叙事詩展》1928年
 4. 《黄道十二宮ラ・プリム誌のカレンダー》1896年
 5. 《白い象の伝説》1894年
 6. 《パリのシンボル(絵画)》1900年
 7. 《フランスの香水ロド》1897年
- すべてOGATAコレクション

【ゲストトーク】

コレクターが語るミュシャの魅力とあれこれ

講師：尾形寿行(本展企画協力者)

日時：7月13日(土) 14:00-(約60分)

会場：美術館展示室

料金：無料(要観覧券/申込不要)

【作品解説】

館長によるギャラリートーク

日時：6月29日(土)、7月28日(日)

各日 14:00-(約40分)

会場：美術館展示室

担当：小川稔(当館館長)

料金：無料(要観覧券/申込不要)

【先生限定】

先生たちのための10日間

本展の開幕より約10日間、無料で鑑賞できます。詳細は本展HPをご確認ください。対象=保育園、幼稚園、小・中・高等学校、大学の教員、学童スタッフの皆さん

期間：6月18日(火)-6月30日(日)

料金：無料(申込不要)

【交通案内】

・JR茅ヶ崎駅南口より徒歩8分(市立図書館隣り、高砂緑地内)

・同駅南口よりコミュニティバス「えぼし号」(中海岸南湖循環市立病院線)乗車、②「図書館前」下車

※駐車場は収容台数が少ないため、公共の交通機関等でご来館ください。

※満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

※Googleマップでルート検索する際は「茅ヶ崎市美術館駐車場」を目的地にすると最短距離で着きます。

◎詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.chigasaki-museum.jp>

☒ SNSでも情報発信中 ☒ 全作品撮影OK(フラッシュ・動画不可)



茅ヶ崎市美術館

〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北1-4-45
Tel.0467-88-1177 Fax.0467-88-1201

